Ryu's Paper
リュウズ　ペーパー

龍華図書館
2018 年 1 月 5 日
1 月号（隔月発行）
Vol. 3

新年明けましておめでとうございます。2018 年も様々な本とみなさまをつなぐことができるよう日々努力してまいります。本年も龍華図書館をよろしくお願いいたします。

もうすぐ冬のスポーツの祭典、冬季オリンピックが開催されます。いつも見ているオリンピックも、ルールを知っていればさらに楽しめること間違いナシ！今月の一冊ではフィギュアスケートの本をご紹介しています。他にも冬季オリンピック競技の本がありますので始まる前に読んでみてはいかがでしょうか？

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第三回『心合寺山古墳（しおんじやまこふん）』

みなさんは、心合寺山古墳（しおんじやまこふん）に行ったことがありますか？大竹にある心合寺山古墳は龍華図書館からは少し遠いですが、この古墳は全長 160m もあり、中河内最大の前方後円墳です。とても大きく、上空から見ないと全体像がわかりにくいほどです。

心合寺山古墳が造られた時期は、出土した埴輪などから 5 世紀の前半ごろと考えられ、中河内を治めていた豪族の墓と考えられています。このころ畿内では、大きな前方後円墳が多く作られていました。特に、堺市の百舌鳥古墳群（もずこふんぐん）は有名です。この百舌鳥古墳群は、国を治めた大王といわれる人の墓が多く集まっています。大王墓と言われる前方後円墳の多くは天皇陵に指定されており、発掘調査も内部への立ち入りもされておらず、さらに木々で覆われ、古墳の全体や中の様子も知ることができません。

心合寺山古墳の発掘調査は10年もの年月をかけられ、三段に積み重ねた三段築成で、精密な設計のもとに造られていることがわかっており、当時を知るとても貴重なものです。調査で発掘されたものには、円筒形の埴輪、壺形の埴輪、蓋形埴輪、家形埴輪、草摺形埴輪などが見つかっており、これらは、野焼きで焼かれたことを示す黒い斑紋が残る古墳時代中期でも古様を残すものです。現在の心合寺山古墳にはさまざまな埴輪が復元展示されています。

いま、八尾市では由義寺がとても話題になっていますが、ハイキングがてら今一度訪れてみてはいかがでしょうか？

龍華図書館所蔵 参考資料

『八尾市史（前近代）本文編』八尾市史編集委員会
『河内どんこう No.47. 67. 75』やお文化協会
『しおんじやま古墳散策マップ-楽音寺・大竹古墳群を歩いてまわろう！』
　八尾市立しおんじやま古墳学習館、歴史体験サポートセンター楽古／編
『古墳とは何か』大阪府立近つ飛鳥博物館

【写真】「心合寺山古墳」
近鉄河内山本駅前より
近鉄バス瓢箪山行「大竹」バス停下車。バス停より徒歩 10 分

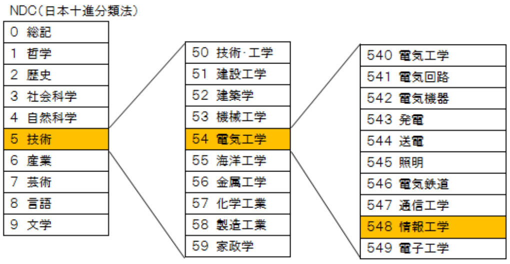
1月の Topics&Information

-Topics

エヌディーシー
ＮＤＣを活用しよう！

図書館スタッフが本を探したり、返却本を棚に戻したりする時、なぜすぐに場所がわかるのか不思議に思ったことはありませんか？実は、図書館の本は「NDC（Nippon Decimal Classification）」という法則に基づいて並んでいるのです。

たとえばロボットは、548.3 で、



本の背表紙をよく見てみると、下の方にラベルが貼ってあります。ここに書かれている数字が、NDC に基づいた分類記号です。図書館の本はNDCの順に並んでいます。ちなみに八尾市立図書館では、日本の小説の背ラベルには「F」と書かれています。 さて、F とは何の略でしょう？…答えは「Fiction（架空の物語）」。NDC を覚えて更に図書館を活用して頂ければ幸いです。

この分類の所にいけば、
ロボット関係の本があります。

-Information 講座のご案内

龍華読み聞かせ
ボランティア養成講座

●日時… ①2018 年 1 月 27 日(土)
②2018 年 2 月 3 日 （土）
③2018 年 2 月 10 日(土)
●時間…13 時 00 分～14時 30 分
●場所…龍華図書館 2 階 おはなし室
●対象…全 3 回すべて参加できる方
龍華図書館で継続して読み聞かせボランティアの活動ができる方

『子どもを夢中にさせる魔法の朗読法』
山田敦子 村上里和/著
日東書院/出版

NHK の現役アナウンサーたちが、読み聞かせの極意を母目線で伝授。「息」や「間」の使い方、正しい母音や「鼻に抜ける」濁音の発音、本の選び方、ページのめくり方など、子どもを本好きにする読み方の秘密を丁寧に教えます。 【TRCマークより】

今月の一冊はコレ!

「百獣繚乱－フィギュアスケート日本男子－」 青嶋ひろの

「日本フィギュアスケートの花形は女子シングル」…そんな時代はもう過去のこと。今や日本男子の勢いはとどまるところを知りません。本書では、2002-2003 シーズンからフィギュアスケートの取材を続けてきた青嶋ひろの氏が、選手達の発した言葉を軸として、ソチオリンピックからアフター五輪シーズン、そして来るピョンチャンオリンピックへの展望を丁寧な言葉で紡いでいます。ピョンチャンへ出場する三選手はもちろん、今は引退してしまった選手から注目の若手にまで言及した、選手愛にあふれる一冊です。

発行・編集 八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ http:yao-ryugelib.jp/

Facebook
情報発信をしていますので、いいね！してください。